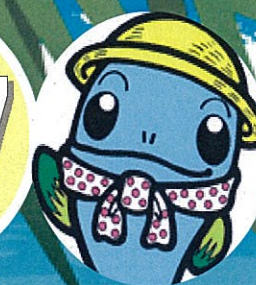
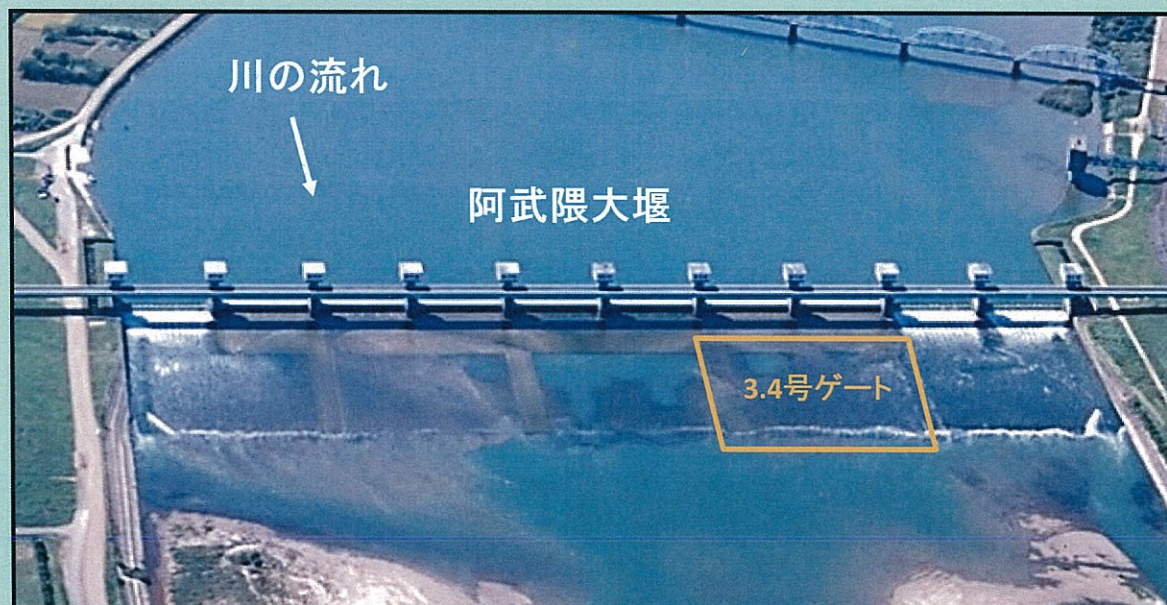


岩沼出張所工事情報 NO.7

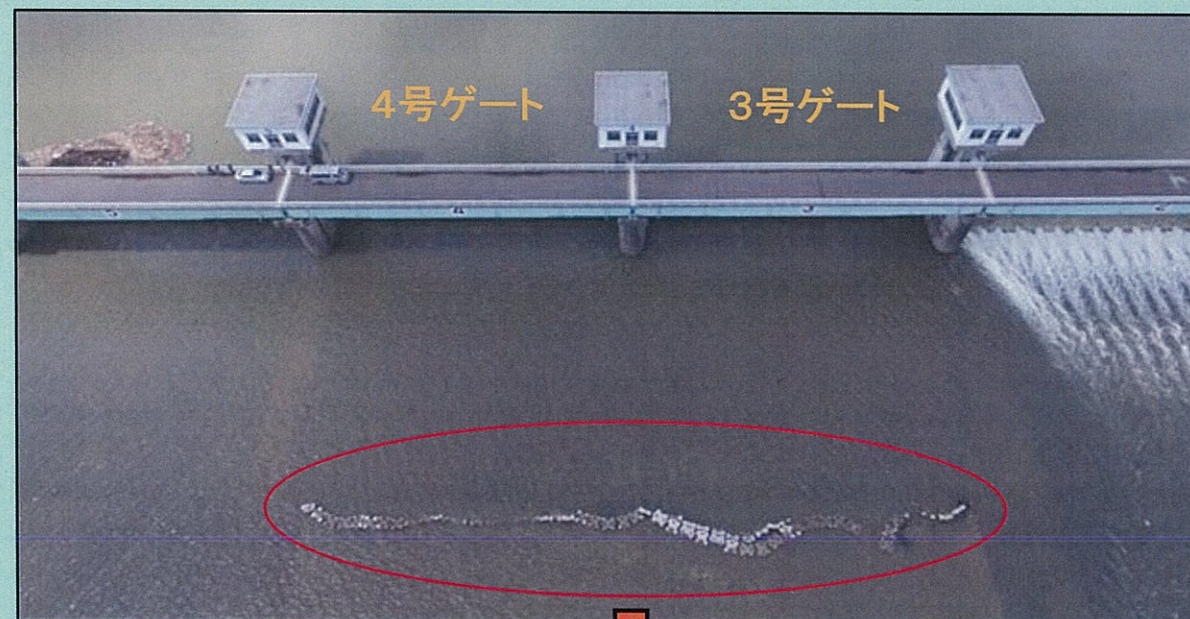


阿武隈大堰3.4号ゲート下流護床工変状箇所復旧工事

■工事施工箇所■



■護床エブロック変状箇所■



平成29年5月15日の日常点検において阿武隈大堰3.4号ゲートに設置している水叩き工直下流側護床工(根固めブロック2列)が被災を受けていることが確認されました。
その後、早急に復旧工事を進め6月に完成しました。

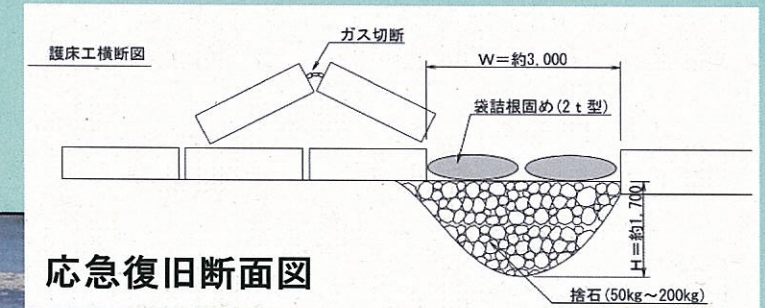


約80m

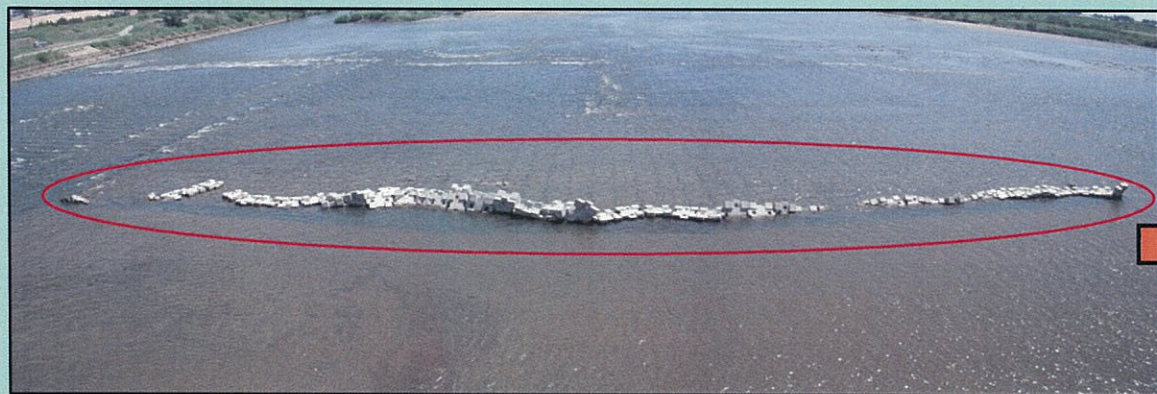
～護床エブロック復旧工事について～

阿武隈川水系阿武隈川に設置している阿武隈大堰(左岸:岩沼市南長谷、右岸:亶理町逢隈)の護床エブロックに変状が発生していることが確認され、復旧工事が行われました。阿武隈大堰3.4号ゲートには約1,500個の護床エブロックが使用されています。

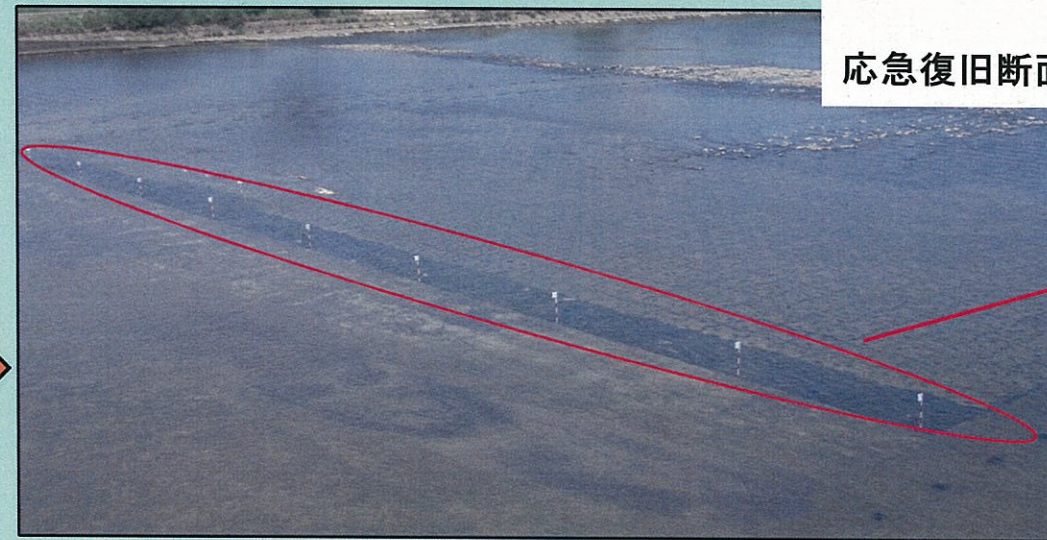
復旧工事はめくれ上がった既設の護床エブロックをバックホーで吊り上げ連結金具をガス切断した後撤去し、変状があった箇所に捨石を敷き詰め袋詰め根固め(2t型)にて仮復旧を行いました。



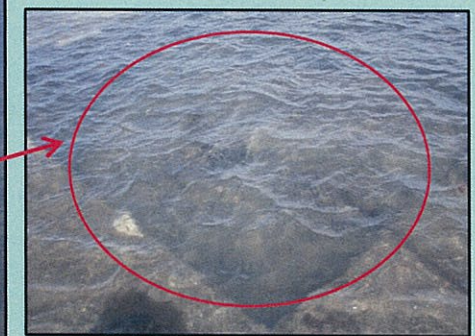
■工事復旧状況■



【施工前】 護床エブロック被災状況



【施工後】 袋詰め根固め(2t型)復旧状況



袋詰め根固め(2t型)

■工事施工状況■



【既設護床エブロックの撤去】



【袋詰め根固め(2t型)ブロック設置】



【護床エブロックの役割とは・・・】
 可道に設置される構造物で主に堰など河川構造物の下流に、流水による河床の洗掘防止が目的で設置される。流水に接する川底の部分を河床といい、河床低下・削られることの防止や河床の勾配(傾斜・傾き)緩和をする役割がある。